

Kwansei  
Archives



Gakuin  
Lectures

第57回

関西学院史研究会

## 関西学院神学部の朝鮮人学生 ——留学の背景と意義——

戦前の関西学院神学部には、毎年数名の朝鮮人留学生在籍しており、その総数は1945年までに約80名に達していた。しかし、彼らがなぜ関西学院という日本の神学教育機関を選んだのか、また、彼らがそこで得た知識・経験が、朝鮮帰国後の彼らの人生やキャリアにどのような意義を持ったのかについては未解明な部分が多い。本講演では関西学院に残る学籍関係資料に加えて、当時の朝鮮側の資料も用いながら、これらの問いに対する答えを探し求めていきたい。

講師

松谷基和氏 まつたに もとかず

東北学院大学国際学部教授。国際基督教大学卒業、東京大学大学院総合文化研究科（修士）、ハーバード大学大学院（Ph.D., East Asian Studies）。専門は、日韓近現代史、東アジアキリスト教史。主著に『民族を超える教会』（明石書店、2020年）、訳書にウィリアム・J・ペリー『核戦争の瀬戸際で』（東京堂出版、2018年）、カーター・J・エッカート『近代韓国の軍事主義——青年朴正熙と日本陸軍』（慶應義塾大学出版会、近刊予定）がある。

日時

2024.9.10 | 火 | 13:30 - 15:10

場所

関西学院大学図書館ホール（西宮上ヶ原キャンパス）

無料・申込不要・一般参加歓迎

主催：関西学院 大学博物館 学院史編纂室

0798-54-6022